

## 弘前市 主要背景情報

主要背景情報 (CI)		単位	R2年度	R3年度	R4年度
水道事業体の プロフィール	現在給水人口	人	163,588	161,601	159,512
	全職員数	人	60	60	60
システムの プロフィール	主な水源種別	-	表流水 (自流)	表流水 (自流)	表流水 (自流)
	浄水受水率	%	36.0	33.5	32.1
	給水人口1万人当たりの 浄水場数	箇所/ 1万人	0.73	0.74	0.75
	給水人口1万人当たりの 施設数	箇所/ 1万人	3.30	3.34	3.39
地域条件の プロフィール	有収水量密度	千m <sup>3</sup> /ha	0.67	0.67	0.65
	水道メーター密度	個/km	81.3	81.4	80.7
	単位管延長	m/人	6.52	6.60	6.74
	都道府県	-	青森県		

目標	分類	区分	番号	PI名	PI計算値 (R2)	PI計算値 (R3)	PI計算値 (R4)	単位	計算式	
安全で良質な水	運営管理	水質管理	A101	平均残留塩素濃度	0.36	0.38	<b>0.42</b>	(mg/L)	残留塩素濃度合計/ 残留塩素測定回数	
			A102	最大カビ臭物質濃度水質基準比率	20.0	20.0	<b>20.0</b>	(値, 項目名) (%)	(最大カビ臭物質濃度/ 水質基準値) × 100	
			A103	総トリハロメタン濃度水質基準比率	29.5	33.0	<b>26.0</b>	(%)	$\Sigma$ (給水栓の総トリハロメタン濃度/ 給水栓数) / 水質基準値 × 100	
			A104	有機物 (TOC) 濃度水質基準比率	21.7	28.3	<b>16.7</b>	(%)	$\Sigma$ (給水栓の有機物 (TOC) 濃度/ 給水栓数) / 水質基準値 × 100	
			A105	重金属濃度水質基準比率	0.0	10.0	<b>0.0</b>	(値, 項目名) (%)	$\Sigma$ (給水栓の当該重金属濃度/ 給水栓数) / 水質基準値 × 100	
			A106	無機物質濃度水質基準比率	12.4	14.1	<b>14.1</b>	(値, 項目名) (%)	$\Sigma$ (給水栓の当該無機物質濃度/ 給水栓数) / 水質基準値 × 100	
			A107	有機化学物質濃度水質基準比率	0.0	0.0	<b>0.0</b>	(値, 項目名) (%)	$\Sigma$ (給水栓の当該有機化学物質濃度/ 給水栓数) / 水質基準値 × 100	
			A108	消毒副生成物濃度水質基準比率	23.3	16.7	<b>16.7</b>	(値, 項目名) (%)	$\Sigma$ (給水栓の当該消毒副生成物濃度/ 給水栓数) / 水質基準値 × 100	
			A109	農薬濃度水質管理目標比	-	-		-	$\max \Sigma(X_{ij} / GV_j)$	
		施設管理	A201	原水水質監視度	64	65	<b>65</b>	(項目)	原水水質監視項目数	
			A202	給水栓水質検査 (毎日) 箇所密度	12.4	12.4	<b>12.4</b>	(箇所/100 km <sup>2</sup> )	(給水栓水質検査 (毎日) 採水箇所数/現在給水面積) × 100	
			A203	配水池清掃実施率	79.9	79.9	<b>79.9</b>	(%)	(5年間に清掃した配水池有効容量 / 配水池有効容量) × 100	
			A204	直結給水率	97.9	98.7	<b>98.6</b>	(%)	(直結給水件数/給水件数) × 100	
			A205	貯水槽水道指導率	11.2	12.2	<b>11.9</b>	(%)	(貯水槽水道指導件数 / 貯水槽水道数) × 100	
		事故災害対策	A301	水源の水質事故件数	0	0	<b>0</b>	(件)	年間水源水質事故件数	
			A302	粉末活性炭処理比率	7.5	10.2	<b>23.7</b>	(%)	(粉末活性炭年間処理水量/年間浄水量) × 100	
		施設整備	施設更新	A401	鉛製給水管率	0.1	0.1	<b>0.1</b>	(%)	(鉛製給水管使用件数/給水件数) × 100

目標	分類	区分	番号	PI名	PI計算値 (R2)	PI計算値 (R3)	PI計算値 (R4)	単位	計算式
安定した水の供給	運営管理	施設管理	B101	自己保有水源率	61.3	61.3	<b>69.8</b>	(%)	(自己保有水源水量/全水源水量)×100
			B102	取水量1m <sup>3</sup> 当たり水源保全投資額	0.00	0.00	<b>0.00</b>	(円/m <sup>3</sup> )	水源保全に投資した費用/年間取水量
			B103	地下水率	5.8	5.6	<b>5.5</b>	(%)	(地下水揚水量 / 年間取水量)×100
			B104	施設利用率	50.5	50.1	<b>53.5</b>	(%)	(一日平均配水量/施設能力)×100
			B105	最大稼働率	56.2	54.5	<b>60.6</b>	(%)	(一日最大配水量/施設能力)×100
			B106	負荷率	89.8	91.9	<b>88.3</b>	(%)	(一日平均配水量/一日最大配水量)×100
			B107	配水管延長密度	4.1	4.1	<b>4.1</b>	(km/km <sup>2</sup> )	配水管延長/現在給水面積
			B108	管路点検率	15.3	30.1	<b>33.2</b>	(%)	(点検した管路延長 / 管路延長) × 100
			B109	バルブ点検率	0.6	0.2	<b>0.4</b>	(%)	(点検したバルブ数 / バルブ設置数) × 100
			B110	漏水率	7.5	6.5	<b>6.0</b>	(%)	(年間漏水量 / 年間配水量) × 100
			B111	有効率	91.9	93.0	<b>93.3</b>	(%)	(年間有効水量 / 年間配水量) × 100
			B112	有収率	88.6	88.5	<b>86.5</b>	(%)	(年間有収水量/年間配水量)×100
			B113	配水池貯留能力	0.92	0.93	<b>0.92</b>	(日)	配水池有効容量/一日平均配水量
			B114	給水人口一人当たり配水量	317	319	<b>324</b>	(L/日・人)	(一日平均配水量/現在給水人口)×1,000
			B115	給水制限日数	0	0	<b>0</b>	(日)	年間給水制限日数
			B116	給水普及率	97.9	98.0	<b>98.1</b>	(%)	(現在給水人口/給水区域内人口)×100
			B117	設備点検実施率	48.5	48.5	<b>48.5</b>	(%)	(点検機器数/ 機械・電気・計装機器の合計数) × 100
		事故災害対策	B201	浄水場事故割合	0.00	0.00	<b>0.00</b>	(件/10年・箇所)	10年間の浄水場停止事故件数 / 浄水場数
			B202	事故時断水人口率	48.0	51.5	<b>52.4</b>	(%)	(事故時断水人口/現在給水人口)×100
			B203	給水人口一人当たり貯留飲料水量	146	148	<b>150</b>	(L/人)	(配水池有効容量×1/2+緊急貯水槽容量)×1,000/現在給水人口
			B204	管路の事故割合	11.9	4.9	<b>4.7</b>	(件/100 km)	管路の事故件数 / (管路延長/100)
B205	基幹管路の事故割合		0.0	0.0	<b>0.0</b>	(件/100 km)	基幹管路の事故件数/(基幹管路延長/100)		
B206	鉄製管路の事故割合		1.1	1.0	<b>1.1</b>	(件/100 km)	鉄製管路の事故件数 / (鉄製管路延長/100)		
B207	非鉄製管路の事故割合		15.5	12.7	<b>11.4</b>	(件/100 km)	非鉄製管路の事故件数 / (非鉄製管路延長/100)		
B208	給水管の事故割合		0.8	1.0	<b>0.9</b>	(件/1,000件)	給水管の事故件数 / (給水管数/ 1,000)		
B209	給水人口一人当たり平均断水・濁水時間		0.35	0.70	<b>0.94</b>	(時間)	Σ(断水・濁水時間 × 断水・濁水区域給水人口) / 現在給水人口		
B210	災害対策訓練実施回数		3	6	<b>5</b>	(回/年)	年間の災害対策訓練実施回数		
B211	消火栓設置密度	2.4	2.4	<b>2.4</b>	(基/km)	消火栓数 / 配水管延長			

目標	分類	区分	番号	PI名	PI計算値 (R2)	PI計算値 (R3)	PI計算値 (R4)	単位	計算式
安定した水の供給	運営管理	環境対策	B301	配水量1m3 当たり電力消費量	0.31	0.32	<b>0.33</b>	(kWh/m <sup>3</sup> )	電力使用量の合計 / 年間配水量
			B302	配水量1m3 当たり消費エネルギー	3.03	3.38	<b>3.15</b>	(MJ/m <sup>3</sup> )	エネルギー消費量 / 年間配水量
			B303	配水量1m3 当たり二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> ) 排出量	164	171	<b>162</b>	(g・CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup> )	[二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> ) 排出量 / 年間配水量] × 10 <sup>6</sup>
			B304	再生可能エネルギー利用率	0.00	0.00	<b>0.00</b>	(%)	(再生可能エネルギー設備の電力使用量 / 全施設の電力使用量) × 100
			B305	浄水発生土の有効利用率	100.0	100.0	<b>100.0</b>	(%)	(有効利用土量 / 浄水発生土量) × 100
			B306	建設副産物のリサイクル率	38.4	67.4	<b>35.6</b>	(%)	(リサイクルされた建設副産物量 / 建設副産物発生量) × 100
	施設整備	施設管理	B401	ダクティル鉄管・鋼管率	60.7	60.9	<b>61.0</b>	(%)	[(ダクティル鉄管延長 + 鋼管延長) / 管路延長] × 100
			B402	管路の新設率	0.10	0.07	<b>0.02</b>	(%)	(新設管路延長/管路延長)×100
		施設更新	B501	法定耐用年数超過浄水施設率	0.0	0.0	<b>0.0</b>	(%)	(法定耐用年数を超過している浄水施設能力/全浄水施設能力)×100
			B502	法定耐用年数超過設備率	71.3	71.3	<b>71.3</b>	(%)	(法定耐用年数を超過している機械・電気・計装設備などの合計数/機械・電気・計装設備などの合計数) × 100
			B503	法定耐用年数超過管路率	27.6	29.7	<b>30.9</b>	(%)	(法定耐用年数を超過している管路延長/管路延長)×100
			B504	管路の更新率	0.49	0.36	<b>0.42</b>	(%)	(更新された管路延長/管路延長)×100
			B505	管路の更生率	0.00	0.00	<b>0.00</b>	(%)	(更生された管路延長/管路延長)×100

目標	分類	区分	番号	PI名	PI計算値 (R2)	PI計算値 (R3)	PI計算値 (R4)	単位	計算式
安定した水の供給	施設整備	事故災害対策	B601	系統間の原水融通率	0.0	0.0	<b>0.0</b>	(%)	(原水融通能力/全浄水施設能力)×100
			B602	浄水施設の耐震化率	15.5	15.5	<b>14.8</b>	(%)	(耐震対策の施された浄水施設能力/全浄水施設能力)×100
			B602-2	浄水施設の主要構造物耐震化率	0.0	0.0	<b>0.0</b>	(%)	[(沈殿・ろ過を有する施設の耐震化浄水施設能力+ろ過のみ施設の耐震化浄水施設能力)/全浄水施設能力]×100
			B603	ポンプ所の耐震化率	2.7	2.7	<b>2.7</b>	(%)	(耐震対策の施されたポンプ所能力/耐震化対象ポンプ能力)×100
			B604	配水池の耐震化率	49.8	49.8	<b>49.8</b>	(%)	(耐震対策の施された配水池有効容量/配水池等有効容量)×100
			B605	管路の耐震管率	21.3	21.6	<b>21.8</b>	(%)	(耐震管延長/管路延長)×100
			B606	基幹管路の耐震管率	34.9	35.4	<b>37.1</b>	(%)	(基幹管路のうち耐震管延長/基幹管路延長)×100
			B606-2	基幹管路の耐震適合率	65.4	65.8	<b>51.6</b>	(%)	(基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長/基幹管路延長)×100
			B607	重要給水施設配水管路の耐震管率	51.0	52.0	<b>50.7</b>	(%)	(重要給水施設配水管路のうち耐震管延長/重要給水施設配水管路延長)×100
			B607-2	重要給水施設配水管路の耐震適合率	66.9	67.9	<b>65.3</b>	(%)	(重要給水施設配水管路のうち耐震適合性のある管路延長/重要給水施設配水管路延長)×100
			B608	停電時配水量確保率	198.1	199.8	<b>187.0</b>	(%)	(全施設停電時に確保できる配水能力/一日平均配水量)×100
			B609	薬品備蓄日数	11.2	9.4	<b>7.1</b>	(日)	(平均凝集剤貯蔵量/凝集剤一日平均使用量)又は(平均塩素剤貯蔵量/塩素剤一日平均使用量)のうち、小さい方の値
			B610	燃料備蓄日数	0.6	0.6	<b>0.5</b>	(日)	平均燃料貯蔵量/一日燃料使用量
			B611	応急給水施設密度	2.4	2.4	<b>2.4</b>	(箇所/100 km <sup>2</sup> )	応急給水施設数/(現在給水面積/100)
B612	給水車保有度	0.01	0.01	<b>0.01</b>	(台/1,000 人)	給水車数/(現在給水人口/1,000)			
B613	車載用の給水タンク保有度	0.12	0.12	<b>0.13</b>	(m <sup>3</sup> /1,000 人)	車載用給水タンクの容量/(給水人口/1,000)			

目標	分類	区分	番号	PI名	PI計算値 (R2)	PI計算値 (R3)	PI計算値 (R4)	単位	計算式
健全な事業経営	財務	健全経営	C101	営業収支比率	112.7	114.9	<b>109.4</b>	(%)	$[(\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) / (\text{営業費用} - \text{受託工事費})] \times 100$
			C102	経常収支比率	112.0	114.3	<b>109.9</b>	(%)	$[(\text{営業収益} + \text{営業外収益}) / (\text{営業費用} + \text{営業外費用})] \times 100$
			C103	総収支比率	111.9	114.0	<b>109.8</b>	(%)	$(\text{総収益} / \text{総費用}) \times 100$
			C104	累積欠損金比率	0.0	0.0	<b>0.0</b>	(%)	$[\text{累積欠損金} / (\text{営業収益} - \text{受託工事収益})] \times 100$
			C105	繰入金比率 (収益的収入分)	2.5	2.2	<b>1.8</b>	(%)	$(\text{損益勘定繰入金} / \text{収益的収入}) \times 100$
			C106	繰入金比率 (資本的収入分)	10.2	9.3	<b>8.0</b>	(%)	$(\text{資本勘定繰入金} / \text{資本的収入計}) \times 100$
			C107	職員一人当たり給水収益	63,151	62,485	<b>62,850</b>	(千円/人)	給水収益/損益勘定所属職員数
			C108	給水収益に対する職員給与費の割合	10.3	9.7	<b>10.5</b>	(%)	$(\text{職員給与費} / \text{給水収益}) \times 100$
			C109	給水収益に対する企業債利息の割合	6.5	6.0	<b>5.6</b>	(%)	$(\text{企業債利息} / \text{給水収益}) \times 100$
			C110	給水収益に対する減価償却費の割合	33.6	34.4	<b>34.7</b>	(%)	$(\text{減価償却費} / \text{給水収益}) \times 100$
			C111	給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合	32.4	32.9	<b>34.2</b>	(%)	$(\text{建設改良のための企業債償還元金} / \text{給水収益}) \times 100$
			C112	給水収益に対する企業債残高の割合	428.4	431.3	<b>448.3</b>	(%)	$(\text{企業債残高} / \text{給水収益}) \times 100$
			C113	料金回収率	106.9	109.9	<b>105.2</b>	(%)	$(\text{供給単価} / \text{給水原価}) \times 100$
			C114	供給単価	210.7	210.3	<b>211.9</b>	(円/m <sup>3</sup> )	給水収益/年間有収水量
			C115	給水原価	197.2	191.3	<b>201.4</b>	(円/m <sup>3</sup> )	$[\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不要品売却原価} + \text{附帯事業費} + \text{長期前受金戻入})] / \text{年間有収水量}$
			C116	1か月10 m <sup>3</sup> 当たり家庭用料金	1,702	1,702	<b>1,702</b>	(円)	1か月10m <sup>3</sup> 当たり家庭用料金
			C117	1か月20 m <sup>3</sup> 当たり家庭用料金	3,922	3,922	<b>3,922</b>	(円)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭用料金
			C118	流動比率	260.8	256.5	<b>260.3</b>	(%)	$(\text{流動資産} / \text{流動負債}) \times 100$
			C119	自己資本構成比率	53.4	54.0	<b>53.8</b>	(%)	$[(\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}) / \text{負債} \cdot \text{資本合計}] \times 100$
			C120	固定比率	160.3	155.1	<b>153.5</b>	(%)	$[\text{固定資産} / (\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額} + \text{繰延収益})] \times 100$
			C121	企業債償還元金対減価償却費比率	101.7	101.2	<b>104.6</b>	(%)	$[\text{建設改良のための企業債償還元金} / (\text{当年度減価償却費} - \text{長期前受金戻入})] \times 100$
			C122	固定資産回転率	0.12	0.12	<b>0.12</b>	(回)	$(\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) / [(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) / 2]$
			C123	固定資産使用効率	6.6	6.5	<b>6.4</b>	(m <sup>3</sup> /万円)	年間配水量/有形固定資産
			C124	職員一人当たり有収水量	300,000	297,000	<b>297,000</b>	(m <sup>3</sup> /人)	年間総有収水量 / 損益勘定所属職員数
			C125	料金請求誤り割合	0.05	0.07	<b>0.04</b>	(件/1,000 件)	誤料金請求件数 / (料金請求件数/1,000)
			C126	料金収納率	90.9	91.4	<b>91.0</b>	(%)	$(\text{料金納入額} / \text{調停額}) \times 100$
			C127	給水停止割合	5.5	5.4	<b>5.3</b>	(件/1,000 件)	給水停止件数 / (給水件数/1,000)



目標	分類	区分	番号	PI名	PI計算値 (R2)	PI計算値 (R3)	PI計算値 (R4)	単位	計算式
健全な事業経営	組織・人材	人材育成	C201	水道技術に関する資格取得度	2.82	3.22	<b>3.03</b>	(件/人)	職員が取得している水道技術に関する資格数 / 全職員数
			C202	外部研修時間	4.5	6.6	<b>12.7</b>	(時間/人)	(職員が外部研修を受けた時間×受講人数) / 全職員数
			C203	内部研修時間	0.6	0.7	<b>0.9</b>	(時間/人)	(職員が内部研修を受けた時間×受講人数) / 全職員数
			C204	技術職員率	63.3	63.3	<b>65.0</b>	(%)	(技術職員数 / 全職員数) × 100
			C205	水道業務平均経験年数	8.5	8.9	<b>9.5</b>	(年/人)	職員の水道業務経験年数 / 全職員数
			C206	国際協力派遣者数	0	0	<b>0</b>	(人・日)	Σ (国際協力派遣者数 × 滞在日数)
			C207	国際協力受入者数	0	0	<b>0</b>	(人・日)	Σ (国際協力受入者数 × 滞在日数)
		業務委託	C301	検針委託率	100.0	100.0	<b>100.0</b>	(%)	(委託した水道メーター数 / 水道メーター設置数) × 100
			C302	浄水場第三者委託率	0.0	0.0	<b>0.0</b>	(%)	(第三者委託した浄水場の浄水施設能力 / 全浄水施設能力) × 100
		コミュニケーション お客さまとの	情報提供	C401	広報誌による情報の提供度	0.0	0.0	<b>0.0</b>	(部/件)
	C402			インターネットによる情報の提供度	8	5	<b>5</b>	(回)	ウェブページへの掲載回数
	C403			水道施設見学者割合	3.01	6.71	<b>7.18</b>	(人/1,000人)	見学者数 / (現在給水人口/1,000)
	意見収集		C501	モニタ割合	0.00	0.00	<b>0.00</b>	(人/1,000人)	モニタ人数 / (現在給水人口/1,000)
			C502	アンケート情報収集割合	0.15	0.82	<b>3.74</b>	(人/1,000人)	アンケート回答人数 / (現在給水人口/1,000)
			C503	直接飲用率	88.0	82.0	<b>64.4</b>	(%)	(直接飲用回答数 / アンケート回答数) × 100
			C504	水道サービスに対する苦情対応割合	0.00	0.00	<b>0.00</b>	(件/1,000件)	水道サービス苦情対応件数 / (給水件数/1,000)
			C505	水質に対する苦情対応割合	0.09	0.17	<b>0.16</b>	(件/1,000件)	水質苦情対応件数 / (給水件数/1,000)
			C506	水道料金に対する苦情対応割合	0.00	0.01	<b>0.03</b>	(件/1,000件)	水道料金苦情対応件数 / (給水件数/1,000)